

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法の意味についての理解を深め、もちいることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。</li> <li>・ 具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。</li> <li>・ 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。</li> </ul>	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前 期	<p><b>ひょうとグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表やグラフから、整理した資料の特徴を捉えることができる。</li> <li>・ 簡単な資料を分類整理して、表やグラフに表したり読んだりすることができる。</li> </ul> <p><b>1000までの数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十進位取り記数法にのっとり3位数を表したり、数直線上に3位数の位置を表したりすることができる。また、10を単位とした加減ができる。</li> <li>・ 3位数の表し方、百の位の意味がわかる。</li> </ul> <p><b>たし算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2位数) + (2位数) で繰り上がりなしや、繰り上がりありの計算が筆算でできる。</li> <li>・ 筆算のしかたがわかる。</li> </ul>	<p><b>とけい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時計の長針や短針の示す目盛りの意味がわかる。また、時刻のよみ方、模型の表し方がわかる。</li> </ul> <p><b>たし算とひき算(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題場面とテープ図を対応して読むことができる。</li> </ul>
後 期	<p><b>ひき算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2位数) - (2位数) で、繰り下がりなし・繰り下がりありの計算が筆算でできる。</li> <li>・ 筆算のしかたがわかる。</li> </ul> <p><b>いろいろな形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立体の面の特徴や物の機能的な面に着目して、図形を分類したり、その面を見通しをもって構成しようと考えたりすることができる。</li> <li>・ 基本的な平面図形を身近なものから取り出し、その基本図形を組み合わせたたり、囲んだ線で形を表したりすることができる。</li> </ul>	<p><b>長さ(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものさしを用いて長さを測ることができ、長さの単位cmとmmを単位として測ることができる。</li> </ul> <p><b>かけ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗法の意味を理解するとともに、乗法の答えは、同数累加と同じ答えになることがわかる。</li> <li>・ 乗法のきまりを用いて、手際よく九九を構成するとともに2の段から9の段、及び1の段の九九を使うことができる。</li> </ul> <p><b>長さ(2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものさしを用いて長さを測ることができ、長さの単位mとcmとmmを単位として測ることができる。</li> </ul> <p><b>1000より大きい数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十進位取り記数法の仕組みに気づき、数の相対的な大きさをとらえることができる。</li> <li>・ 4位数の表し方がわかる。</li> </ul> <p><b>三角形と四角形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものの形の観察や構成・分類などの活動を通し、三角形や四角形を弁別したり、作図したりすることができる。</li> </ul> <p><b>たし算とひき算(2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テープ図をよみ取り、加法と減法は逆になっていることを説明できる。</li> <li>・ テープ図をよみ取り、立式することができる。</li> </ul> <p><b>2年のまとめ</b></p>

**算数科の評価**

・ 算数科では四つの観点で評価します。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

・ 次のような方法で見えていきます。

発言内容 ノートのまとめ方 プリント 学習態度 練習問題 取り組む様子 作品 テスト  
長さの計測

**おうちの方へ**

ブロックなどの半具体物を使った操作活動を取り入れて、わかる授業をめざします。マス計算やプリントなどを用いて、基礎・基本の定着を図ります。反復練習を大切にするために、算数の宿題は、ほぼ毎日出しますので、ご家庭での協力をお願いします。